

「環境」をテーマに、商店街と地域住民が交流を深めながらにぎわいを創出

宇 治 商 工 会 議 所

機関名	宇治商工会議所		
所在地	京都府宇治市宇治琵琶45-13		
電話番号	0774-23-3101		
地域概要	(1)管内人口 190 千人	(2)管内商店街数 40 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 15 商店街 (主に2商店街)	(2)会員数 437 商店	
	(3)空店舗率 6.4 %	(4)大型店空き店舗 0 店	
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成12年度 活性化対策事業、 環境をテーマとしたイベント等
総事業費 23,096 千円

【事業実施内容】

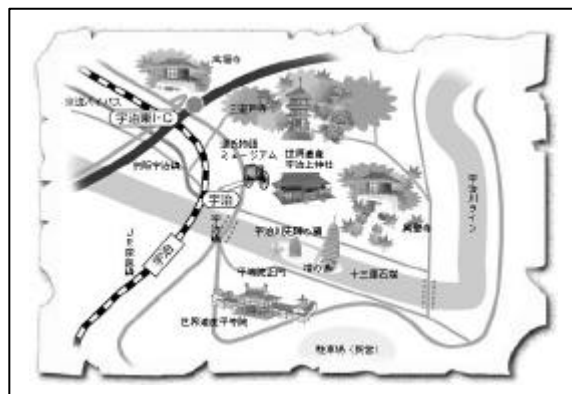
1. 背景

宇治市は京都市に南隣する人口約19万人の都市で、市内には40の商店街等があり、小売店舗数1,636店、年間販売額1,807億8900万円（いずれも平成11年）を有しているが、商店街はいずれも脆弱である。

近年、商店街等では長引く消費低迷や相次ぐ大型店の出店による影響で衰退傾向にある。さらに平成11年から12年にかけて、2信用金庫の事業譲渡や大手車体メーカーの工場移転が地域経済に多大な影響を与えた。

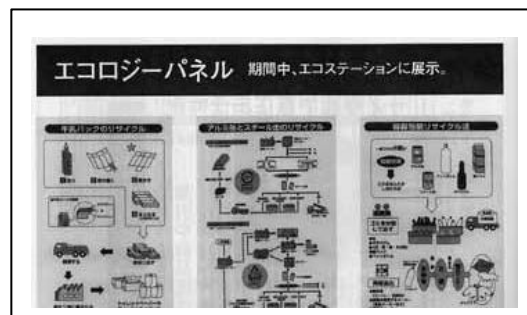
このような厳しい状況にあって、商店街を蘇らせていくには、地域に密着している商店街の特性を活用しながら、地域のコミュニティの核として、役割を果たしていくことが期待される。

本事業は、近年ゴミ問題の深刻化、資源の有効利用など、環境問題の機運が高まっている中で、地域住民と商店街が共通のテーマとして「環境」を取り上げながら交流を深め、環境にやさしい商店街づくりを行うことにより商店街ににぎわいを創出する環境社会対応型モデル事業である。この事業は宇治橋通商店街振興組合・開商店街振興組合を中心に市内15商店街等で実施した。



宇治市内の地図

- (1) 事業名：見直しましょう、環境を守る暮らしと商い
人にやさしいエコストリート 宇治ふれあい商店街



- (2) 事業内容
＜宇治橋通商店街・開商店街における事業＞

1) 空き店舗活用事業

宇治橋通り・開両商店街内の空き店舗をエコステーションとして活用し、環境をテーマとした各種教室、環境関連商品展示、環境啓発事業などを通じて地域住民の交流の場とした。

①各種教室の開催

子供エコロジー工作教室、ふろしき展示教室、ハガキづくり教室、ガーデニング教室、廃食用油石鹸づくり教室、パッチワーク教室、エコロジー料理教室などを実施。



エコステーションを活用した活動の様子

各種教室は、10・11・12月と回数を追うごとに注目度も高まり、定員をオーバーする申込があった。さらに12月に開講した「エコロジー教室」では、開商店街（振）のおかみさん会の応援もあり、エコステーションが満員になる程の盛況であった。後に実施した消費者懇談会においても、これら教室の存続への要望が多く出されていたように、消費者が商店街に集う場として、この種の教室の開催は極めて有効である。

②各種展示

福祉団体作品展、宇治市消費生活モニター日用品試買調査結果展示、三重県宮川村エコ活動団体「森の番人」パネル展示、小学校エコ探偵団結果展示などを行った。

各種展示では、エコロジー啓発パネルや市内福祉団体の作品展などを中心に行った。特に地元小学生によるエコ探偵団による商店街マップや消費生活モニターに試買調査等の展示にはそれらの事業に参加された方の父兄、関係者などの来店で注目を集めた。

エコステーション展示例



エコステーションを利用した展示

③環境啓発事業

- ・牛乳パック回収事業 9月11日～30日

牛乳パック（開封、洗浄済み）5枚持参の方に抽選で牛乳パック再生トイレットペーパーなど、エコ商品をプレゼント。

- ・白色トレイ回収事業 11月7日～26日

白色トレイ（洗浄済み）10枚持参の方に抽選でケナフティッシュペーパーなど、エコ商品プレゼント。

- ・ラッキーチケット事業 1月13日～2月12日

空き缶回収とサービス券発行を連動させた機器を活用して、商店街各個店のサービス券を発行する。

エコロジー啓発事業では、「牛乳パック回収」と「白色トレイ回収」を実施したが、抽選でエコロジー商品があたるという消費者参加企画したことから期間中多くの人がエコステーションを訪れた。課題としては、回収した牛乳パックや白色トレイが、どのようにリサイクルされるのか、最終の工程までシステムとして構築されることが望まれる。

3) イベント事業

買物袋持参で買物にきてもらうよう働きかけるキャンペーンイベントを実施した。

- ・オリジナルバッグエコポイントセール
 - ・マイバッグエコポイントセール
 - ・マイバッグエコ券セール
- など



ポスター (A3)

マイバッグキャンペーンセール事業は、実施期間の割には低調であったことは否めない。消費者にとっては、ある日突然のマイバッグキャンペーンで十分な理解の浸透が図られなかったことと、商店街加盟店においてもキャンペーンの取組みへのコンセンサスが図られなかったことが原因といえる。特に商店街では従来

の販売習慣から抜け出すことができないのが課題である。

4) その他の事業

①エコモニター事業

- ・生ゴミ処理機モニター事業 10月1日～12月31日

生ゴミ処理機を使って、家庭から出る食べ残しの生ゴミが、どれだけ減量できるかモニタリング。

- ・ゴミダイエット効果モニター事業 11月1日～30日

家庭から出るゴミの量などをモニタリングすることにより、商店街等のこれからの売り方、サービス方法を模索。

従来の販売方法を一挙に変えることは無理としても、商店街が消費者と対話を図り環境問題に対する理解を深め、徐々に改善に努める必要がある。生ごみ処理機モニター事業では、ゴミの分別の習慣もつきゴミダイエットも意識は高まったようである。

②エコ体験事業

- ・小学生エコ探偵団 9月29日、11月9日

市内2小学校の3年生が商店街加盟店の陳列、売り方の工夫、エコロジー活動を調査。



市内の小学生が「エコ探偵団」として
エコロジー活動を調査



エコロジーをテーマにした
和歌を募集し、観光にも一役

③観光エコロジー事業

- ・宇治十帖エコロジー和歌事業

(募集：10月20日～11月20日 選定会：12月8日)

源氏物語のまち宇治の観光をアピールする平等院表参道商店街とあさぎり商店

会が「宇治と環境美化」を主題とする和歌を募集した。

当事業では、秋の観光シーズンにあわせて「宇治と観光美化」をテーマに和歌を募集した。当初、和歌という比較的なじみの薄いもので応募を危惧する意見もあったが、107名の応募 269首の募集があった。観光商店街をアピールする手段としては一応の成功を見たものと考えられる。

④市内商業団体ネットワーク事業

・啓発イベント

環境を守るための買物や暮らし方をPRする、エコロジー劇場「カンちゃんのおもしろエコ教室」を市内7商業団体で実施。

・市内13商業団体共同エコポイントセール 12月1日～16日

市内13商業団体が期間を統一して、レジポリ袋を減らすため買物袋持参者にカードを発行しポイントを付与するポイントセールを実施。

⑤広報事業

・エコステ通信 9月～12月（毎月1日発行）

・新聞広告にてPR

・FM宇治 事業告知

・その他、各事業実施時に折込みチラシ



「エコステ通信」で事業をPR

【課題・反省点】

商店街が地域の環境活動の中心となり、環境を活性化の新しい切り口として取組めたことは誠に有意義であった。今回は、商店街の新たな事業、個店の新たな商いの手がかかりとなるよう数多くの事業を展開した。今後は、地域住民・団体と連携を図り、事業を継続実施することが商店街活性化に結びつくと思われる。

こうした事業を継続していくことは、商店主にとっては、各自の商売という業務を越えた付加的な仕事となり、これを維持していくことは容易なことではないが、こうした努力なしに商店街が存続しえないと考えられる。

【 関 連 U R L 】

宇治商工会議所 <http://www.ujicci.or.jp/>

読売新聞 8月9日

宇治市の宇治橋通り商店街にオープンしたエコステーション

エコステーション開店

宇治市の宇治橋通り商店街の両端に、エコステーションがオープンした。宇治商工会議所の商店街活性化（環境対応型）推進事業の一環で、両端両端ではマイバッグを持参した買い物の際には印刷されたエコステーションのスタンプを貼る。また、エコステーションでは毎月、新しいエコ商品の展示や牛乳パックの回収、エコロジカルな商品も随時開かれる。

この日は記念イベントとして両端の月亭八方さんが「環境落語」を披露した。

月亭八方さんが「環境落語」披露

京都新聞 8月9日

宇治で環境保護活動支援

2商店街に拠点施設
学習会やトレジャー回収
レジ袋減量企画も

洛南タイムス 8月9日

商店街に交流拠点がオープン

（宇治商工会議所）

「宇治橋通り」開の2カ所
「エコステーション」開の2カ所
エコ商品展示やエコロジカル教育など

宇治商工会議所は、宇治市の宇治橋通り商店街の両端に、エコステーションをオープンした。この日は、エコステーションのオープンを記念して、両端の月亭八方さんが「環境落語」を披露した。また、エコステーションでは毎月、新しいエコ商品の展示や牛乳パックの回収、エコロジカルな商品も随時開かれる。

この日は、エコステーションのオープンを記念して、両端の月亭八方さんが「環境落語」を披露した。また、エコステーションでは毎月、新しいエコ商品の展示や牛乳パックの回収、エコロジカルな商品も随時開かれる。